



# ばいりん

令和5年 月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862



## 水の如く、しなやかに生きる

副校長 花本 敏夫

水は、様々に形を変えて存在することができます。たとえば、コップに注げばコップの形に合わせることもできれば、川を流れるときには、川幅や角度にも形を合わせることができます。また、緩やかに流れたり激しく流れたりすることもあります。

さらに、氷になったり水蒸気になったりもします。状況に合わせて変幻自在です。

我々は日々、変化の中に生きています。赤ん坊として生まれてから幼少期を過ごし、青年となり、さらに年を重ねていきます。その中で、住む場所や、学校、職場、地域のコミュニティー等、周りの環境も変化していきます。

これから先の未来を生きる子どもたちの前にも様々な変化が訪れてきます。そこで未来を生きるための一つの視点として「しなやか」に生きる生き方を提案してみたいと思います。

私はそのしなやかさを「水」という存在に見出せるように思います。先ほど述べたように、水は状況に応じて変化する柔軟さをもっています。その上で、水の本質は変わりません。氷であろうが、水蒸気であろうが、緩やかに流れようが、水は水です。水（H<sub>2</sub>O）という本質は変わりません。

人も水と同じように、自分という存在を大切にしつつ、変化を恐れず生きていく中に成長があり、本来の自分らしさも輝いていくものだと思います。

剣豪の宮本武蔵は、自身の剣術について「水を本として、心を水になすなり」と、たとえています。武蔵は、水の如く、自分を自在に変えることで、自身の剣術を磨き続け成長できたのだと思います。

これからの時代は、AI（人工知能）によって、必要な情報が瞬時に提供されたり、ロボットや自動走行車などの技術が発達したりすることで、今とは違った形の未来に急速に変化していきます。また、環境問題や人権問題等、世界規模で考え解決すべき課題も山積しています。

そのような時代を生き抜くために、自分という大切な存在を見失わずに、水の如く、しなやかに生きる生き方が大切になってくるのではないのでしょうか。